

素形材事業部

素形材事業部では、全社の方針に則して、3つのR(Recycle、Reduce、Reuse)をキーワードに以下の項目に注力しております。

製造(工場)での取り組み

素形材事業部に属する3事業所すべてで本年度中にISO14001の認証取得を完了します。(2事業所は既に認証取得済み)

鋳物砂のリサイクル、廃棄物の低減等を計画的に進めてきましたが、さらに一歩進めてゼロ・エミッション工場を目指した活動を推進します。

エネルギー原単位、CO₂排出量等の削減に関し、明確な目標値を定めた活動を推進します。

取締役

素形材事業部長

松井 正毅



商品開発での取り組み

素形材事業部の主力商品は、元来リサイクル性の高い金属製品(鋳鉄・鋳鋼品)ですが、セラミックス、合成無機化合物、複合材料等も増えつつあります。

これを踏まえて、

リサイクル設計や省エネ推進等、地球環境に配慮した商品開発を最優先とします。

PRTR法を遵守し、化学物質のリスク管理と社会への情報提供を徹底します。

今後も、商品開発と生産活動の両面で、環境調和創造企業を目指した活動に取り組んでまいります。

排水用鋳鉄管

排水管は、マンションやビルの生活排水・汚水等の排水に使われる配管材料です。

クボタ排水用鋳鉄管は、他の化成品や化成品との複合素材とは異なり、ねずみ

鋳鉄(JIS G 5501)による鉄系単一素材のため、100%リサイクル可能な環境への負荷を最小限にとどめる「循環型モデル素材」で作られています。クボタおよび日本排水鋳鉄システム工業会会員各社は、製品原材料の75%にスクラップ材を使用しています。また、鉄加工品や鉄単独の配管材については、再生が容易なことから専門業者による分別収集が進んでいます。排水用鋳鉄管は、一般の鉄残材同様に現場からリサイクル材料として収集され、選別・加工を経て再資源として供給されます。さらにクボタでは、梱包材についても環境に配慮し、特約店で梱包を解いたり、専用コンテナを用いるなど、建設現場で梱包廃材が発生しないシステムを確立しています。



排水用鋳鉄管